

授 業 科 目 名	市民カレッジ青森教室「世界諸言語間に見られる普遍性」(言語基礎論)				
担 当 教 員	山本秀樹				
学 期	前	曜日・時限	4月14・15日/4月21・22日	単 位	2 単 位
<b>【授業としての具体的到達目標】</b>					
種々の言語現象について、世界の言語全体から言語現象を考察するために基礎となる視点を身につけることを目標にする。					
<b>【授業の概要】</b>					
主として言語類型論(世界諸言語の資料を基に言語の普遍性と変異のあり方を探求する分野)の観点から世界諸言語間に現れる種々の言語現象を考察し、言語類型論の考え方について学習する。					
<b>【授業内容予定】</b>					
第1回 授業の概要説明および受講生との打ち合わせ(4月14日(土)10:00~11:30)					
第2回 世界諸言語間の類似性と多様性(4月14日(土)13:00~14:30)					
第3回 言語普遍性発見の意義(4月14日(土)14:40~16:10)					
第4回 言語類型(4月14日(土)16:20~17:50)					
第5回 言語普遍性と言語類型の実例について(4月15日(日)10:00~11:30)					
第6回 意味的普遍性(4月15日(日)13:00~14:30)					
第7回 音韻的普遍性(4月15日(日)14:40~16:10)					
第8回 形態的普遍性(4月15日(日)16:20~17:50)					
第9回 統語的普遍性(4月21日(土)10:00~11:30)					
第10回 言語普遍性の種類(4月21日(土)13:00~14:30)					
第11回 言語普遍性に対する説明原理について(4月21日(土)14:40~16:10)					
第12回 人間の認知能力による説明(4月21日(土)16:20~17:50)					
第13回 言語習得や言語処理による説明(4月22日(日)13:00~14:30)					
第14回 社会的行動による説明(4月22日(日)14:40~16:10)					
第15回 最終試験(4月22日(日)16:20~17:50)					
<b>【教材・テキスト】</b>					
プリントを使用する。					
<b>【参考文献】</b>					
・バーナード・コムリー著(松本克己・山本秀樹訳)『言語普遍性と言語類型論』(ひつじ書房)					
・山本秀樹著『世界諸言語の地理的・系統的語順分布とその変遷』(溪水社)					
<b>【成績評価の方法および採点基準】</b>					
基本的に最終試験の出来によるが、平常点を加味して総合的に評価する。					
<b>【授業形式・形態および授業方法】</b>					
受講生にプリントの内容について説明してもらい、教員からの質疑応答や補足説明を通じて種々の言語現象を考察していく。					
<b>【留意点・予備知識等】</b>					
言語学の基礎的な(概論程度の)知識、および種々の言語に関する知識を持っていることが望まれるが、受講生の予備知識の程度によって授業内容等を調整することもある。					
<b>【オフィスアワー】</b>					
弘前大学人文社会科学部4階の言語類型研究室では前期木曜日の11:30から12:30。その他、開講時間中に随時質問を受け付ける。					